

問1	日本の各地域とその地域に位置する文化遺産の地理的特徴についての説明として正しいものを、次のうちから1つ選びなさい。（2026年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 東北地方の太平洋側に位置し、戦国時代から江戸時代にかけて大量の銀を産出した石見銀山がある。	2. 四国地方の太平洋側に位置し、戦国時代から江戸時代にかけて大量の銀を産出した石見銀山がある。	3. 東海地方の太平洋側に位置し、戦国時代から江戸時代にかけて大量の銀を産出した石見銀山がある。	4. 中国地方の日本海側に位置し、戦国時代から江戸時代にかけて大量の銀を産出した石見銀山がある。
問2	中国地方と四国地方の間に位置する地域では、約4170kmにおよぶ島や半島、岬が入り組んだリアス海岸が広がっています。この複雑な地形を活かして、人口が集中する都市の臨海部で特に盛んに行われており、カーフェリーなどの製造を通じて関連産業が集積している工業はどれですか。（2022年 東京都公立入試 類似）			
	1. 阪神工業地帯の金属工業	2. 中京工業地帯の自動車工業	3. 京浜工業地帯の石油化学工業	4. 瀬戸内工業地域の造船業
問3	中国地方の各県における工業の特徴を説明した次の文のうち、統計的な傾向と一致する正しい説明はどれですか。なお、統計上、山口県は化学工業の産出額が約1兆9791億円と非常に大きく、島根県は化学工業（約333億円）や輸送用機械工業（約839億円）に比べて鉄鋼業（約1675億円）の産出額が多くなっています。（2024年 三重県公立入試 類似）			
	1. 広島県、山口県、島根県の3県は、いずれも輸送用機械工業が県内産出額の第1位を占めている。	2. 山口県は鉄鋼業の産出額が県内で最も多く、島根県は石油化学コンビナートが集中する化学工業の拠点となっている。	3. 島根県は輸送用機械工業の産出額が中国地方で最も多く、広島県は化学工業が産業の中心となっている。	4. 広島県は輸送用機械工業、山口県は化学工業、島根県は鉄鋼業の産出額が、それぞれの県内で主要な位置を占めている。
問4	ある地域の地形図において、標高約332mの山頂であるA点から、海岸沿いの平坦地であるB点までの断面図を作成する場合、等高線の読み取り方とその結果として得られる地形の記述について、適切なものはどれですか。（2017年 和歌山県公立入試 類似）			
	1. A点付近は等高線の間隔が広い ため、断面図では低い位置から始まり、B点に向かって標高が急上昇する。	2. A点とB点の等高線の間隔は等しい ため、断面図では一定の傾斜を持つ なだらかな斜面として描かれる。	3. A点付近は等高線が密集しており、断面図では高い位置からB点に向かって急激に標高が減少する曲線になる。	4. A点とB点の間地点で等高線が最も密集しているため、断面図では中央が最も盛り上がった地形になる。
問5	1985年から2015年にかけての四国地方と他地域間の移動手段を調査した統計において、1985年には全体の一定割合を占めていた船舶の利用が減少し、代わって自動車が全体の約3分の2を占めるほどに急増しました。このような交通手段の変化をもたらした主な要因として正しいものはどれですか。（2020年 香川県公立入試 類似）			
	1. 格安航空路線の拡大により、人々の移動手段の大部分が航空機へ転換されたこと	2. 鉄道網の高速化が進み、自家用車よりも鉄道による移動が一般的になったこと。	3. 瀬戸内海での船舶事故を防ぐために、旅客船の航行が全面的に禁止されたこと。	4. 本州と四国を結ぶ3つのルートの本州四国連絡橋が完成し、陸上交通網が整備されたこと。
問6	中国・四国地方の太平洋側（高知など）の気候統計では、7月から9月の降水量が約960mmと非常に多くなる傾向があります。このような降水量分布を生じさせる気象要因の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。（2021年 埼玉県公立入試 類似）			
	1. 夏の季節風、梅雨前線、および台風の影響	2. 対馬海流（暖流）と北西の季節風の影響	3. 冬の季節風、およびシベリア高気圧の影響	4. フェーン現象による乾燥した空気の影響
問7	高知県の人口構成における特徴と、その背景にある社会的な動きについて述べたものとして最も適切な説明はどれですか。（2019年 茨城県公立入試 類似）			
	1. 愛知県や大阪府などの都市部と比較して、老年人口の割合が高く、深刻な高齢化の状況にある。	2. 第2次産業が極めて盛んであるため、15歳から64歳までの生産年齢人口が全国平均を大きく上回っている。	3. 少子化のスピードが緩やかであるため、若年層と老年人口の割合がほぼ均衡している。	4. 若年層の流入が多いため、人口ピラミッドは底が広がる「富士山型」の形状を保っている。
問8	愛媛県において、みかんをはじめとする果樹栽培が非常に盛んである理由として、自然環境の特色をふまえて説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2019年 兵庫県公立入試 類似）			
	1. 年間を通じて降水量が非常に多く、常に湿潤な平坦地が広がっているから	2. 大規模な灌漑施設によって水の供給が安定しており、小麦やにんじんの栽培に最も適しているから	3. 瀬戸内海沿岸の温暖な気候に恵まれ、水はけが良く日当たりの良い傾斜地が多いから	4. 冬の寒さが厳しく、病虫害の発生を抑えることができる高冷地が中心だから
問9	九州地方の最北端に位置する福岡県北九州市は、海を隔てて本州と隣接しており、交通の要所となっています。この北九州市から見て、対岸の本州側の最西端に位置する県はどこですか。（2017年 長野県公立入試 類似）			
	1. 山口県	2. 島根県	3. 広島県	4. 福岡県
問10	日本海側の鳥取、瀬戸内沿岸の高松、太平洋側の高知の三都市における雨温図の統計を比較した際、高松の降水量が他の二都市に比べて著しく少なくなる理由を、周辺の地形的特徴に触れて述べたものを選びなさい。（2020年 島根県公立入試 類似）			
	1. 日本海から吹き込む冬の季節風が中国山地を越える際に水分を失い、さらに四国山地を越える際に温められることで高松周辺の雨雲が消滅するため。	2. 鳥取は冬の季節風、高知は夏の季節風や台風の影響で降水が増えるが、高松は二つの山地に挟まれてそれらの湿った空気が届きにくいから。	3. 太平洋からくる湿った空気が四国山地で雨を降らせた後、高松を通り越してさらに北にある鳥取付近で再び雨を降らせるという循環構造があるため。	4. 高松は標高の高い山々に囲まれた盆地状の地形であり、周辺の都市に比べて上昇気流が発生しにくく、常に乾燥した下降気流にさらされるため。
問11	香川県高松市の南部など、瀬戸内地方の地域に見られる「ため池」の役割と、その背景となる自然環境について述べた文として、正しいものはどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 黒潮の影響で年間を通じて温暖湿潤な気候であるため、二毛作を行うための大量の灌漑用水が必要である。	2. 四国山地によって湿った南東の季節風が遮られ、降水量が少なくなるため、人工的に水を貯める必要がある。	3. 季節風の影響で冬の降雪量が多く、春先の融雪洪水から耕地を守るために一時的に水を貯める必要がある。	4. 広大な平野が広がり河川の勾配が緩やかなため、湿地帯を乾燥させて宅地化するために水を抜く必要がある。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 中国地方の日本海側に位置し、戦国時代から江戸時代にかけて大量の銀を産出した石見銀山がある。	石見銀山がある島根県は、中国地方の日本海側に位置しています。東北地方や東海地方、四国地方ではありません。
問2	答え 4 瀬戸内工業地域の造船業	瀬戸内海沿岸は、多くの島々や入り組んだ海岸線を持つリアス海岸が発達しています。波が穏やかで水深が深い入り江は、大型船の建造や停泊に非常に適しており、古くから造船業が発展してきました。現在でもカーフェリーをはじめとする多様な船舶の建造が行われており、部品供給を行う関連工場も周辺に集積しています。
問3	答え 4 広島県は輸送用機械工業、山口県は化学工業、島根県は鉄鋼業の産出額が、それぞれの県内で主要な位置を占めている。	中国地方の工業は県ごとに特色があり、広島県はマツダなどに代表される輸送用機械、瀬戸内工業地域に属する山口県は石油化学、島根県は古くからの「たたら製鉄」の流れを汲む特殊鋼などの鉄鋼業が、統計上の特徴として表れます。各県の主要産業を正しく把握することが重要です。
問4	答え 3 A点付近は等高線が密集しており、断面図では高い位置からB点に向かって急激に標高が減少する曲線になる。	断面図を作成する際、地形図上の等高線の密度は傾斜の度合いを直接反映します。山地であるA点付近は標高が高く等高線が密に描かれているため、断面図では高い地点から始まる急な斜面として表現されます。一方、港などの沿岸部であるB点付近は等高線がほとんど見られないため、断面図では標高が低く、変化の少ない平坦な地形として結ばれます。
問5	答え 4 本州と四国を結ぶ3つのルートの本州四国連絡橋が完成し、陸上交通網が整備されたこと。	神戸・鳴門ルート、児島・坂出ルート、尾道・今治ルートという3つの本州四国連絡橋が整備されたことで、それまで船舶が中心だった四国と本州の間の交通が、自動車（自家用車、トラック、高速バス）へと大きく転換されました。これにより、天候に左右されにくい安定した輸送と、時間の短縮が可能になりました。
問6	答え 1 夏の季節風、梅雨前線、および台風の影響	太平洋側の地域は、夏に小笠原高気圧から吹き出す南東の湿った季節風の影響を強く受けます。さらに、初夏の梅雨前線の停滞や、夏から秋にかけて接近・上陸する台風によって、短期間に大量の雨が降ることが多いため、年間降水量も非常に多くなります。これに対し、日本海側の冬季の多雨は北西の季節風が主因となります。
問7	答え 1 愛知県や大阪府などの都市部と比較して、老年人口の割合が高く、深刻な高齢化の状況にある。	日本の人口分布において、高知県などの地方では都市部への人口流出（社会減）と出生数の減少（自然減）が重なり、人口ピラミッドにおいて老年人口（65歳以上）の占める割合が非常に高いことが特徴です。対して、愛知県や大阪府などの大都市圏では、地方からの若年層の流入があるため、高知県ほど高齢化率は高くありません。
問8	答え 3 瀬戸内海沿岸の温暖な気候に恵まれ、水はけが良く日当たりの良い傾斜地が多いから	愛媛県のみかん栽培は、温暖な気候に加え、地形的な利点を活用しています。果樹、特にみかんは日当たりが良く水はけの良い土地を好むため、瀬戸内海や宇和海に面した傾斜地が栽培に最適です。このように、自然環境を巧みに利用することで、年間収穫量12万トンを超える全国有数の果樹地帯が形成されました。
問9	答え 1 山口県	本州の西端に位置する山口県は、関門海峡を挟んで九州地方と向かい合っています。北九州市にとっては本州への入り口、山口県にとっては九州への入り口として、古くから人や物の往来が盛んな地域です。選択肢にある広島県や島根県も中国地方の県ですが、九州と直接接しているのは山口県のみです。
問10	答え 2 鳥取は冬の季節風、高知は夏の季節風や台風の影響で降水が増えるが、高松は二つの山地に挟まれてそれらの湿った空気が届きにくいから。	日本の気候は、季節風が山地を越える際にその山脈の風上側に雨や雪を降らせる特徴があります。日本海側の都市は冬に、太平洋側の都市は夏や台風時に降水量が増加しますが、中国地方から四国地方へ南北に横断する地形を見ると、高松は二つの高い山地の中間に位置しています。このため、どちらの季節からの湿った空気も遮断され、降水量が抑えられる結果となります。
問11	答え 2 四国山地によって湿った南東の季節風が遮られ、降水量が少なくなるため、人工的に水を貯める必要がある。	瀬戸内の気候は、夏は四国山地が南東の季節風を、冬は中国山地が北西の季節風を遮るため、全国的に見ても雨が少ないのが特徴です。そのため、農業、特に稲作において重要となる「水」を確保する手段として、地形図上に点在するような多くのため池が建設されました。水害対策や工業用水という側面よりも、気候に由来する農業用水の確保が主な目的です。